



教育研究所だより

令和3年度 No.6 (371号)

令和3年 8月 24日(火)

発行所：いの町教育研究所

教職員視察バス研修会

～いの町内へ出かけてみよう!～

7月29日(木)に、地域理解を目的とした、教職員視察バス研修を行いました。夏休み中の希望研修でしたが、17名の参加がありました。今回の研究所だよりはその研修会の報告をお送りします!

◇ 目 的

- いの町内の歴史や文化に親しむとともに、施設やその役割を知る。
- 校種、職種及び世代の枠を超え、参加者が交流を図る。

◇ 当日の様子

太陽がガラガラと照り付ける真夏日。伊野中学校駐車場には、続々と参加者の先生方の姿。当日に体調を崩された方もおらず、全員参加となりました。

研修のしおりを持って、レッツゴー!



～のぞみ教室～

町内の教育支援センター、のぞみ教室の見学から研修はスタートしました。悩みや不安を抱える子どもたちに安らぎを与え、自立を促す「のぞみ教室」の活動について、榎本室長より説明がありました。

町内の施設が、どのような役割をしているのかを実際に見られる、貴重な機会でした。



～行当の切り抜き・八田の底入り・八田堰～

こちらは小学3・4年生の社会科資料「いののくらし」で学習する、八田堰周辺の見学です。やはり、社会科は地域教材が命ですね!実際に用水路の見学をして、江戸時代の工事の大変さや、野中兼山がもたらした業績を感じることができました。

参加者の声

行当の切り抜きは初めて来ました!



八田堰の案内の際、宮尾登美子さんの『仁淀川』に触れてほしい。八田堰がより一層特別なものに感じられますよ。

～本川地区～

バスに揺られて1時間ほどで本川地区へ到着しました。郷土館の中を本川教育事務所の大野さんに案内してもらい、プラチナセンターへ。会場に着くと、神楽の衣装を着た子どもたちの姿が!長年本川神楽の普及にご尽力下さっている、青地三男さんのはからいで、実際に子どもたちの舞を見せてもらうことができました。



参加者の声

長沢小学校の児童が舞う姿が印象的でした。感動です。



本川地区については裏面に続く...

～本川地区続き～

講師の青地三男さんから、伝統ある本川神楽普及のために行っている活動について、映像を交えながらお話をいただきました。「室町時代から続く本川神楽を、私たちの世代で途絶えさせたくはない。本川神楽をいの町の全体で継承していきましょう。」という熱いお言葉に参加者全員、胸が打たれました。



演舞に使う面(レプリカ)を実際に付けてみました！

～吾北地区～

吾北中央公民館にて、ヘルスメイトさんによるお弁当に舌鼓。野菜たっぷりのお弁当に大満足！レシピもいただきました。



参加者の声

手作りランチ、とてもおいしかったです。

～吾北分校の取組～

昼食の後は、高知追手前高校吾北分校の塩田雅彦教頭より、吾北分校の取組についての講話をいただきました。

I C T機器を活用した本校との遠隔授業や、地域の小中学校との連携、吾北寮について等、小規模校ならではの、生徒一人一人に寄り添う教育実践を聞くことができました。普段、高等学校の取組を聞く機会がありませんので、参加者の皆さんは真剣な眼差しで聞いていらっしゃいました。



～吾北分校見学～

講話の後、実際に校内を案内していただきました。まず参加者を驚かせたのは巨大な苔アート。業者ではなく、分校の先生が描いているそうです。一見の価値アリです！広くてきれいな体育館、生活環境型課程の生徒が育てた花壇、実際に遠隔授業が行われている教室を見学しました。



参加者の声

分校に入ってみたかったので良かったです！

分校の先生が描いた苔アート、プロ級です。

～紙の博物館～

研修の最後を飾るのは、紙の博物館見学です。館長の平尾里枝美さん直々にご案内いただきました。

紙の歴史や作り方などの興味深い展示があり、参加者の皆さんそれぞれに発見があったようです。自由時間には、「紙と遊ぼう」特別展を見たり、紙の博物館内のショップでお買い物をしたり、はたまた紙すき体験をしたりと、短い時間でしたが紙の博物館を楽しめました。



参加者の声

校区内以外にも、いの町全体のことがよく分かり、今後の指導に役立ちます。

特別展の作品が素晴らしかった。授業の参考にしたいです。

～終わりに～

研修後のアンケートにて、研修の満足度（満足・おおむね満足）は100%でした。タイトな日程でしたので、体験活動が十分できない部分もありました。その部分を改善し、来年度はさらなる研修の充実を目指していきます。ご参加ありがとうございました。